

Info 1 **ハッピーマンデー（7月17日）の診療体制について**

当院では地域医療への貢献に繋がればと考え、7月17日に診療を行うことと致しました。地域医療連携室も7月17日は8時30分から17時00分まで稼動しておりますので、お困りの際はご連絡をお願い致します。

また、下記の診療科につきましては外来予約を受け付けております。7月17日の受診を希望される患者さんがいらっしゃいましたら地域医療連携室へご連絡をお願い致します。

なお、2017年9月18日、10月9日、12月29日、2018年1月8日、2月12日も今回と同様に終日診療を行う予定です。一部診療科で休診の可能性がございますので詳細が決まり次第追って連絡いたします。

診療科：糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、整形外科、形成外科、血液内科、脳神経外科、神経内科（完全予約制）

お問合せ：地域医療連携センター 地域医療連携室
TEL：078-261-6739(直通)・FAX：078-261-6728(直通)

Info 2 **Diabetes & Incretin Seminar ～GLP-1受容体作動薬の適正使用を考える～**

- ◆日時：2017年7月20日(木) 18時50分～20時30分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711)
- ◆特別講演：「今なぜGLP-1受容体作動薬なのか？」
座長：神鋼記念病院糖尿病・代謝内科 科長 竹田 章彦
演者：神戸大学大学院医学研究科総合内科学 准教授 坂口 一彦 先生
- ◆パネルディスカッション：テーマ「GLP-1受容体作動薬の適正使用について」
司会：神戸大学大学院医学研究科総合内科学 准教授 坂口 一彦 先生
パネリスト：こたに糖尿病内科クリニック 院長 小谷 圭 先生
神鋼記念病院糖尿病・代謝内科 科長 竹田 章彦
- ◆その他：日本医師会生涯教育認定講座 1単位
当日は軽食をご準備しております

Info 3 **東神戸肺がん画像研究会**

- ◆日時：2017年7月28日(金) 18時10分～20時00分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711)
- ◆講演1：「オプジーボによる薬剤性肺障害について」
演者：国立がん研究センター東病院 放射線診断科科长 楠本 昌彦 先生
- ◆講演2：「肺がん画像 症例検討」
コメンテーター：国立がん研究センター東病院 放射線診断科科长 楠本 昌彦 先生
- ◆その他：日本医師会生涯教育認定講座 1.5単位申請中

Info 4 **診療リスクヘッジを考える会**

- ◆日時：2017年8月2日(水) 18時30分～20時00分
- ◆場所：神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL：078-261-6711)
- ◆講演1：「薬剤性消化管出血のマネジメント」
演者：神鋼記念病院消化器内科 医長 塩 せいじ
- ◆講演2：「説明義務とInformed Consent～どこまで説明すれば義務は果たされるのか?～」
演者：北浜法律事務所・外国法共同事業 医師・弁護士 長谷部 圭司 先生
- ◆その他：日本医師会生涯教育認定講座 1.5単位申請中

*日本医師会生涯教育認定講座の修得にあたり、当日芳名録にて医籍登録番号の記入が必須となりましたのでご用意ください

Contents

- *特集：呼吸器内科
[重症難治性喘息に対する新しい非薬物療法～気管支サーモプラスティ]
- *感染症科医のつぶやき
- *開業医探訪
「吉野脳神経外科」
- *Information
・ハッピーマンデーの診療体制について
・講演会のご案内

神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救命医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL：078-261-6711 (代表)
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索

http://www.shinkohp.or.jp/

[特集 呼吸器内科]

重症難治性喘息に対する新しい非薬物療法
～気管支サーモプラスティ～

保険認可を受けた新しい喘息治療

気管支サーモプラスティは2015年4月に国内で保険認可を受けた新しい喘息治療です。高用量吸入ステロイド+長時間作用型気管支拡張薬で喘息症状がコントロールできない18歳以上の重症持続型喘息の症状緩和を目的としています(図1)。

喘息治療は吸入ステロイド薬が主体ですが、うまく吸入できない人や吸入していても十分症状が改善されない患者が一定数存在します。また抗体製剤などの治療薬も登場していますが、高価であり毎月継続して使用する必要があるため費用負担が問題となる場合があります。

「気管支サーモプラスティ:Bronchial Thermoplasty (BT)」は、気管支鏡を用いて、気管支内にカテー

テルを挿入し、高周波電流にて気管支壁を65℃で10秒間温めることで、気管支平滑筋を減少させて気管支の過収縮による喘息症状を減少させる新しい内視鏡治療です。世界では約5,000名、日本国内では約90施設で300名の患者が治療を受けております。兵庫県では当院を含めて5施設が導入していますが、6名を治療している当院が県内では症例数最多となっています。

喘息による日常生活の制限を減少させる効果が期待できる

右下葉、左下葉、両側上葉と3つのブロックにわけて計3回気管支鏡を行います。各治療はそれぞれ3週間以上間隔を空ける必要があります。局所麻酔下に行い、1回あたりの施術時間は30分程度です。合併症としては咳、呼吸困難、胸痛、喘息発作、無気肺などが報告されておりますが多くは治療後1日以内に出現し1週間以内には改善します(資料2)。

ペースメーカーなどの植え込み型医療用電気機器を使用している方や、リドカイン、アトロピン、ベンゾジアゼピン系抗不安薬などの気管支鏡手技に必要な薬剤が使用できない方、呼吸器感染症に罹患している方、血液凝固障害が疑われる方、他の気管支鏡手技と同様に治療前に抗凝固薬、抗血小板薬、アスピリン、NSAIDsなどの中止ができません。またBTは一生に一度しか受けられません。約70-80%の



呼吸器内科 医長 門田 和也
Kazuya Monden

神戸大学を平成20年に卒業。
日本内科学会認定内科医・指導医、日本呼吸器学会専門医などの資格を持つ。

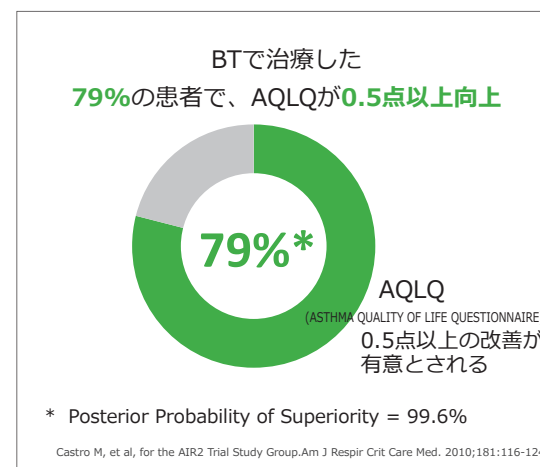


図1 臨床試験結果 (AIR2試験)

実施した方も本治療の対象とはなりません。過去14日間に喘息増悪または経口ステロイド薬の用量変更を行った患者さんも施行できず、短期間に喘息発作による入退院を繰り返しているような方は症状が落ち着いてから治療を実施することとなります。

高額療養費精度で費用を最小限に

本治療にかかる費用は、カテーテル代323,000円＋気管熱形成術術(10,150点)101,500円＝424,500円＋入院費(2泊3日予定)が1回の治療にかかるため、予め高額療養費制度を使用することになります。3回の治療は前述のとおり間隔を各々3週間以上空けますが、うまくスケジュールを組めば2ヶ月で治療を終えることで費用を最小限に抑えることができます。(表2)

臨床試験において少なくとも5年間の効果と安全性が確認

気管支サーモプラスティは臨床試験で少なくとも5年間の効果と安全性が確認されています。それ以上の効果については不明ですが、難治性喘息による症状で外出ができない、夜間に十分な睡眠がとれないなどのQOLの低い方や抗体製剤を併用していても増悪のある方な

18歳から69歳までの方		BT3 回分の医療費と自己負担額の合計 (1ヶ月に1回受けた月と1ヶ月に2回受けた月の合計)
所得	年収約 1,160 万円以上	419,270 円
	年収約 770 万～1,160 万円	336,910 円
	年収約 370 万～770 万円	171,270 円
	年収約 370 万円未満	115,200 円
	住民税非課税の方	70,800 円

表2 BTの自己負担額～高額療養費制度を利用した場合～

注1) 上記に含まれる金額は、麻酔費、入院費、手術費、材料費とし、入院期間は2泊3日を前提としています。入院期間や治療内容などにより、医療費の総額は異なります。
注2) BTに関連する医療費は患者さんの年齢と世帯全体(扶養されているご家族)の所得によって異なります。

有害事象の多くは手技後1日以内に生じ、標準的な治療で**平均1週間以内に消失**します

有害事象	手技期間 (n=190)	Follow-up期間 (n=187)
平均期間 (日)	84	322

※「手技期間」は最終手技の6週後まで、「Follow-up期間」はその12か月後までを指す

	■ 呼吸器系の主な有害事象【耳・鼻・咽頭】(%)		■ 呼吸器系の主な有害事象【下気道】(%)	
	手技期間 (n=190)	Follow-up期間 (n=187)	手技期間 (n=190)	Follow-up期間 (n=187)
上気道感染	20	30	喘息(複数症状)	52
鼻咽頭炎	5	11	喘鳴	15
咽頭刺激感	5	1	胸痛	14
ウイルス性上気道感染	4	6	咳嗽	12
副鼻腔炎	3	6	呼吸困難	11
急性副鼻腔炎	3	4	胸部不快感	9
咽頭痛	3	1	下気道感染	8
アレルギー性鼻炎	2	4	湿性咳嗽	7
鼻炎	2	4	無気肺	5
			気管支炎	4
			咯血	3

Castro M, et al, for the AIR2 Trial Study Group. Am J Respir Crit Care Med. 2010;181:116-124.

表1 臨床試験結果 (AIR2試験)

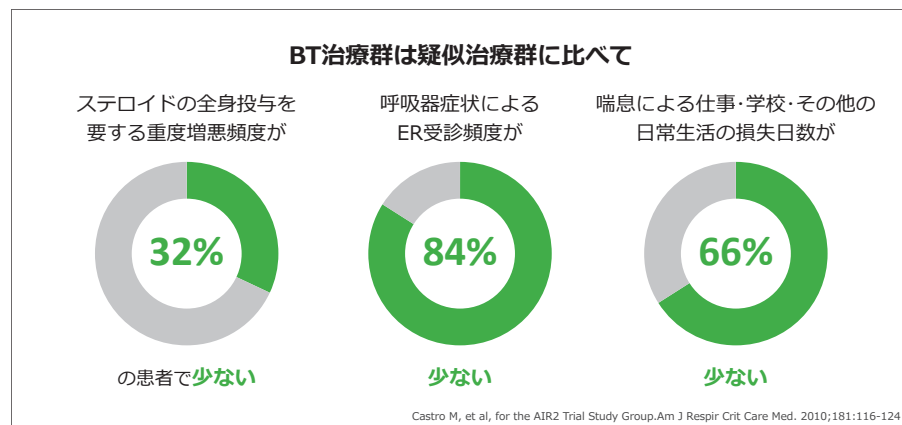


図2 臨床試験結果 (AIR2試験)

ど、日々症状に悩まされている患者さんに対しては良い治療適応と考えています。当院における施行例でも呼吸困難で臥位になれず、眠る際はいつも起坐呼吸で眠っていた

ような患者さんが臥位で眠れるようになった、という例を認めています。

治療費の点でも喘息発作による入院費の減少や、サーモプラスティ後の抗体製剤使用の減少などに繋がれば、喘息診療にかかる個人あるいは社会全体の医療費抑制効果が期待できると考えられます。

難治性喘息でお困りの症例があれば、当院呼吸器内科へ是非ご紹介ください。

【どうすれば問診で鑑別診断を正しく挙げられるのか？】

今回は「問診で鑑別診断を正しく挙げられなければ、身体診察や検査をどんなに頑張っても正しく診断できることはない」ということとお話しました。では、問診で鑑別診断を正しく挙げられるようになるにはどうすればよいのでしょうか？

正解は、「症状から鑑別診断を考える学問、すなわち症候学を勉強すればよい」です。症候学の教科書には「胸痛の原因→心筋梗塞、気胸…。不明熱の原因→感染性心内膜炎(以下IE)、リンパ腫、SLE…。」等と書かれています。このように、症状ごとに疑われる疾患を“鑑別診断リスト”として整理しておけば、問診で鑑別診断を正しく挙げられるようになるはずで

「IE? 今までそんな疾患診たことないけど。どうせウチにはIEの患者さんは来ないでしょ?」と思った方はいないでしょうか。IEは熱以外にこれといった症状がないことが多いので、患者さんが「いつもの風邪だろう」と考えてかかりつけ医を受診しても全く不思議ではない疾患です。そしてIEは初診時に見逃されて治療が遅れてしまうと確実に予後が悪化してしまう怖い疾患でもあるのです。このような疾患はIEだけではなく、マalaria、ツツガムシ病、血管内リンパ腫など数多くあります。

したがって、経験したことがない疾患だからといって“鑑別診断リスト”から外してはいけません。“鑑別診断リスト”にない疾患を診断できることは絶対にはないからです。

開業医探訪 Vol.33 inquires into a doctor

【脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科】 吉野脳神経外科

今回の開業医探訪は東灘区の国道2号線沿いにある「吉野脳神経外科クリニック」を訪ねました。

■ 診療を開始されてどれくらいになりますか？

北区鈴蘭台にある吉野医院の分院を作るということで、吉野理事長に声を掛けていただき平成25年6月に開院いたしました。

■ どのような患者さんが来院されますか？

脳神経外科とリハビリテーションの専門医である知識や経験を活かしてリハビリテーションを行っており、脳卒中の術後で回復期を終えて自宅に戻れた維持期・生活期の患者さんが多いです。

また、神戸大学医学部附属病院神経内科の古和先生に認知症専門外来を行っていただいておりますので、神経内科疾患の方も多く来院されます。併設で通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、認知症デイケアもあり、様々な患者さんにご利用いただいております。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

患者さんのリスクを考慮し、理学療法士・作業療法士・言語療法士と連携をとり、リハビリテーションを安全に行うことを心掛けております。その上で、病気だけでなく、患者さんやご家族、患者さんのいる地域など、全てをひっくめて見ていくという「リハビリテーションマインド」を常に意識しています。

■ ひとこと

様々なリハビリテーションの形態に加え、往診も行っております。患者さんの状態や状況に応じたリハビリテーションを提供できる体制をとっており、今後も地域密着で維持期・生活期の患者さんを診ていきたいと思

information

- 神戸市東灘区森南町1-6-2 F甲南山手ビル2階
- TEL : 078-453-5600
- 診療科: 脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科
- 休日: 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×



院長 島田 憲二 先生